

本日開催される貴講演集會に連帯の意思を示しメッセージを送らせていただきます。

現在、韓国尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は南北の労働者・市民が積み重ねて来た祖国統一への熱望と成果をことごとく破壊し、南北関係は分断以降最悪の状況にあります。尹錫悦大統領は今年の光復節記念行事で新たな統一政策「8.15 統一ドクトリン」を発表しましたが、これは朝鮮の体制崩壊を目論む吸収統一論に他なりません。尹錫悦政権は「自由」を強調し、北側住民が「自由」の価値に目覚めることによって統一が為されると吹聴していますが、「互いの違いを認め体制の差異を乗り越える」とした歴代の南北合意に真っ向から反対する反統一行為そのものです。既に朝鮮政府は年初に開催した最高人民會議で「体制統一や吸収統一を国策とする韓国とは統一が実現できない」と明言しており、現状では政府間協議に応じる可能性はありません。それどころか対北ビラ散布を行う悪質脱北者団体への支援に言及するなど、尹錫悦政権は明白な敵対行為を繰り返しています。

また昨年のキャンプデービッド合意以降、韓米日の実質的な軍事同盟化が推し進められ韓米合同軍事演習に加えて韓米日合同軍事演習が行われるようになりました。韓国軍と在韓米軍に加えて、日本の自衛隊が海上、空中で朝鮮への侵略戦争を想定した軍事訓練を行っている、危険極まりない状況です。そして韓日間での軍事協力をするために、強制徴用被害問題をはじめとした植民地支配期の歴史清算が屈辱的に行われ、欺まんだ「韓日関係改善」が進められています。これは在日コリアンの歴史性を真っ向から否定する行為であり、決して容認することはできません。

このように尹錫悦政権発足以降、南北全面戦争に向けた足場作りが着々と推し進められています。またそういった状況を背景に、韓国の軍備拡張、軍事予算は雪だるま式に増え上がる一方で、労働者・市民は物価や家賃の高騰に苦しんでいます。現在、韓国国内では労働者・市民が尹錫悦大統領の弾劾を求める闘いに立ち上がっています。対米追従、対日屈従、対北対決の路線を突き進み、反対する労働者・市民を「反国家勢力」と規定する尹錫悦大統領を打倒することこそが、今日の朝鮮半島における平和への第一歩です。労働者・市民と野党がつながる反尹錫悦戦線の強力な闘いがこの秋に行われる予定であり、私達も朝鮮半島の自主的平和統一を求める立場から連帯し共に闘っていく決意です。貴講演集會の参加者の皆様におかれましても、ぜひご関心を寄せていただければ幸いです。

本日行われる講演集會が東アジアの自主と平和を求める闘いをより一層前進させる成果を収められることを願っております。共に闘いましょう。

在日韓国青年同盟 中央委員長  
韓成祐（ハン・ソンウ）